

静岡市教員育成指標の基本的な考え方

〈目指す子どもたちの姿〉（*第3期静岡市教育振興基本計画）

たくましく しなやかな子どもたち

- ① 知識・技能のほか、柔軟に対応できる総合的な学力、豊かな心・感性、健やかな体を備えた子どもたち
- ② いつでも、どこでも、どんな状況でも、自ら考え、主体的に行動することができる子どもたち
- ③ 困難なことがあっても、チャレンジ精神を持ち、粘り強く立ち向かう力を発揮する子どもたち
- ④ 自分の良さや可能性を認識しつつ、夢や希望に向かって努力し、豊かな未来を切り拓いていく子どもたち
- ⑤ 多様な視点で物事を捉え、他人の考えを尊重し、協力し合いながら問題解決ができる子どもたち
- ⑥ 静岡市民として、地域社会や世界で活躍するグローバルな視野・視点を持った子どもたち

静岡市の教師：教育にひたむきな教師

目指す教師像

- ◇教育への熱意、使命感をもち、生涯を通じて学び続ける教師
- ◇子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師
- ◇人とつながる人間関係調整力をもった教師

教員育成指標

◇教員育成指標

校長及び教員（以下「教員等」）が常に学び続け、資質能力を向上させるためのキャリアステージ各段階で身に付ける資質能力の目安

※校長及び教員の範囲は、校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、臨時的・任期付任用教員

◇活用場面

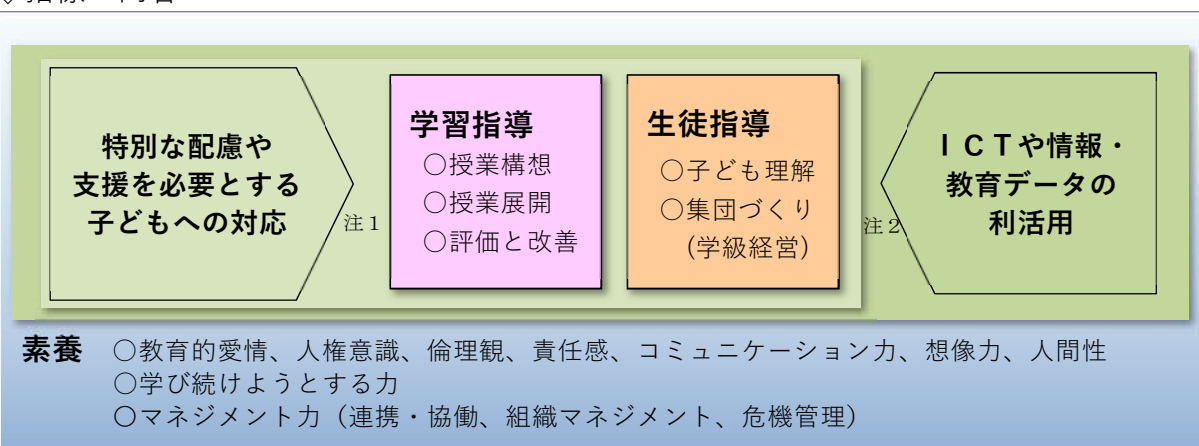
- <校長>・所属教員の資質向上を目指した指導助言、研修の受講奨励
・校長育成指標に基づく自己研鑽
- <教員>キャリアステージでの自己診断と新たな目標設定、研修の意欲付け
- <教育委員会>教員の採用、研修計画の抛り所

◇ステージの区切り

教員育成指標…4つの成長段階

- ① 着任時…教員としての歩みを始める時期（教員採用前）
- ② 基礎期…教員としての基礎を確立する時期（初任～中堅教諭等資質向上研修）まで
- ③ 充実期…中堅教員として、学校運営の中核を担う時期（中堅教諭等資質向上研修後～）
- ④ 深化期…自己の専門性（管理者としての専門性を含む）の更なる向上と若手・中堅教員への指導の時期

◇指標の内容



注1)「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応」は、「学習指導」「生徒指導」を個別最適に行うものとして位置付け

注2)「ICTや情報・教育データの活用」は、「学習指導」「生徒指導」「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応」をより効果的に行うための手段として位置付け

静岡市【校長】育成指標

＜静岡市が目指す校長像＞

時代の変化を的確に捉え、多様な他者と協働しながら、未来を見据えた学校経営ができる人

学校組織のリーダーとしての素養

マネジメント能力

アセスメント能力

ファシリテーション能力

校長の役割	資質能力
学校経営ビジョン の構築と実行	☐ 実態把握と分析力 ・学校内外の実態（児童生徒の学習・生活、保護者・地域からの期待、教職員（力量）・校内環境等）を把握し、学校経営における強みと課題を把握する。 ☐ 教育施策等の理解を基にした企画力 ・社会の動向、国や市の教育施策及び学校の実態を踏まえ、学校経営ビジョンを構築する。 ☐ 検証と改善力 ・学校教育目標の実現状況や教育課程の実施状況を確認・分析し、改善方針を立案し実施する。
	☐ 人材育成力 ・教職員一人一人の資質能力やキャリア段階を的確に把握し、指導・助言を行うと共に、教職員の能力や適性、課題意識や将来展望に応じた分掌配置を行う。 ・より質の高い教育活動を実現するため、教職員が意欲的に新たな指導方法等を学び続けることができる体制を構築する。 ☐ 危機管理能力 ・安心・安全な環境づくりに取り組み、リスクマネジメントを徹底する。 ・サービス監督者としての自覚をもち、教職員の倫理観を高めると共に、信用失墜行為の根絶を推進する。 ☐ 働き方改革の推進力 ・「学校における働き方改革プラン」に基づき、教職員が心身ともに健康を維持し、教育の質を高め、児童生徒の資質・能力の向上を図ることができる環境を整える。
	☐ 合意形成力 ・学校経営ビジョンを学校内外（児童生徒・教職員・中学校区の小中学校・保護者・地域等）と共有し、実施を図る。 ☐ 教育資源の活用能力 ・コミュニティ・スクール等を通して、学校と地域の連携及び協働の取組を推進し、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る。

【教諭等】教員育成指標

静岡市が目指す 教師の姿	教育にひたむきな教師
	・教育への熱意、使命感をもち、<u>生涯を通じて学び続ける教師</u> ・<u>子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師</u> ・人とつながる人間関係調整力をもった教師

ステージ 資質能力		着任時（採用前）	基礎期（初任～中堅研）	充実期	深化期
		教員としての歩みを 始める時期	教員としての 基礎を確立する時期	中堅教員として、 学校運営の中核を担う時期	自己の専門性（管理者としての専 門性を含む）の更なる向上と若 手・中堅教員への指導の時期
素養 ICTや情報・教育データの活用		☐ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。 ☐ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。			
		☐ 学習指導要領を理解し、基礎的な指導法を身に付け、指導計画に従い実践しようとしている。	☐ 学習指導要領に沿って育成を目指す資質・能力を明確にし、単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で資質・能力を育成する授業を行っている。 ☐ 子ども理解を生かし、他の教員と協働しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、学習者中心の授業を行っている。	☐ 深い教材研究に基づく専門性の高い授業を行っている。 ☐ 他の教員と協働した授業研究を行ったり、若手教員に授業改善の助言や模範授業を行ったりしている。	☐ 専門性を更に高め、学習指導における強みを生かしている。 ☐ 高い専門性を生かして、他の教員と協働した授業研究を行ったり、若手や中堅教員に授業改善の助言・指導や模範授業を行ったりしている。
		☐ 子どもの多様性を理解し、一人一人とつながりをつくろうとしている。	☐ 子どもの実態と背景の把握をもとに、個に応じた指導を行い、子どもとの信頼関係を築いている。 ☐ 子ども一人一人の可能性や活躍の場を引き出す集団づくり（学級経営）を行っている。	☐ 学年や学級の活動を通して、子どもが生き方についての考え方を深めていくことができるように、計画的・継続的な指導を行っている。	☐ 経験から醸し出される言葉がけや相談、見届け指導を行い、 <u>子どもの自己実現を全面的に後押し</u> している。 ☐ 子ども理解や集団づくり（学級経営）に関して、若手や中堅教員に専門性の高い助言を行っている。
		☐ インクルーシブ教育の理念を踏まえ、特別な支援を要する子どもの対応に関する基本的な知識を身に付けている。	☐ 障害の特性を理解し、教室環境や授業形態を工夫するなど、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かい指導を行っている。	☐ 特別な配慮や支援を要する子どもへの合理的配慮及びその基礎となる環境整備について、計画的・組織的に対応している。	☐ 必要な配慮や支援の種類に応じて <u>自ら模範</u> となって対応し、個別的教育支援計画及び個別の指導計画等の作成と実行をリードしている。
		☐ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	☐ 授業においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 校務においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する指導を行っている。 ☐ 様々な教育データを蓄積・分析・利活用し、 <u>子ども一人一人に応じたきめ細かい指導・支援</u> に生かしている。		
		☐ 教職員、家庭、地域との連携・協働の意義を理解している。	☐ 保護者や地域への発信、協働を通して信頼関係を築いている。 ☐ 教職員や保護者と協力しながら組織的・継続的に教育活動を行っている。	☐ 学年行事・学校行事等で、教職員や保護者、地域と連携・協働した企画を推進している。 ☐ 地域・保護者の思いを受け止めながら、関係機関と連携し、学校体制で計画的に教育活動を行っている。	☐ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進している。 ☐ 関係機関と連携を深め、保護者・地域を巻き込み、学校体制で、計画的・組織的に教育活動を行っている。
		☐ 教育公務員としての自覚を持ち、組織の一員として自らの役割を果たそうとしている。	☐ 担当学年・学級や分掌の業務についてPDCAサイクルに基づいて実践し、組織の中での自分の役割を果たしている。	☐ 担当学年や分掌の主任等としての業務について、同僚との合意形成を図り、計画的・組織的に職務を推進している。	☐ 現状と教育資源の分析をもとに、校内外人材の適材適所の活用や地域との協働により効果を上げている。
		☐ 教室内外の安全管理について理解し、適切に対応しようとしている。	☐ 教室内外の安全管理を適切に行っている。	☐ 学校全体のリスクマネジメント（危機回避）とクライシスマネジメント（危機対応）を意識して取り組んでいる。	☐ リスクマネジメントとクライシスマネジメントに関する実施体制の主管と指導を行っている。

【養護教員】教員育成指標

静岡市が目指す 教師の姿	教育にひたむきな教師 ・教育への熱意、使命感をもち、<u>生涯を通じて学び続ける教師</u> ・<u>子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師</u> ・人とつながる人間関係調整力をもった教師
-----------------	---

ステージ		着任時（採用前）	基礎期（初任～中堅研）	充実期	深化期
		教員としての歩みを始める時期	教員としての基礎を確立する時期	中堅教員として、学校運営の中核を担う時期	自己の専門性（管理者としての専門性を含む）の更なる向上と若手・中堅教員への指導の時期
素養 ICTや情報・教育データの活用 特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応		☐ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。 ☐ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。			
		☐ 学校保健安全法を基に、健康診断や救急処置、疾病予防、健康観察等の基礎的知識を身に付けている。	☐ 児童生徒の実態や健康課題を把握し、発達段階や個に応じて適切に対応する。	☐ 緊急時に備えた救急体制を整備し、教職員への周知と啓発を行う。 ☐ 健康課題の解決に向け、保護者や地域と協働・連携した保健管理を推進する。	☐ 健康課題に適切に対応するため、専門性を発揮し、校内外の指導的役割を果たす。
		☐ 救急処置や疾病予防等、的確に迅速に行うことができる。			
		☐ 学習指導要領・教育課程を理解し、児童生徒の実態に応じた保健教育の必要性を理解している。	☐ 学級担任・教科担任等と連携して養護教諭の専門性を生かした保健教育に参画・実践しようとしている。 ☐ 子どもの実態に応じた個別の保健教育を実施する。	☐ 保健教育について計画・実践・評価し、効果的・組織的に推進する。	☐ 保健教育の推進にあたり、地域や他の専門機関と連携した取組を行い、教職員に助言を行う。
		☐ 学校保健安全法による健康相談・教育職員免許法による健康相談活動の位置付け及び内容を理解している。 ☐ ヘルスアセスメントの基礎を理解している。	☐ 発達障害、慢性疾患等、配慮を必要とする子どもの実態と背景の把握をもとに、保護者や他の教職員と協力しながら個に応じたアセスメント・対応ができる。	☐ 本人・保護者の思いを受け止めながら、地域・関係機関と連携し、健康相談・健康相談活動を実施する。 ☐ 配慮を要する子どもの個別の指導計画等の作成に参画する。	☐ 保護者・地域・関係機関と連携し、学校体制で、計画的・組織的な対応を行うにあたり、コーディネーターの役割を果たす。
		☐ 心身相関の視点から、ヘルスアセスメントに応じた的確な判断・対応ができる。			
		☐ 養護教員の役割、保健室の機能に関する基礎的知識を身に付けている。 ☐ 課題解決型の保健室経営計画の必要性を理解している。	☐ 学校教育目標、学校保健目標の具現化のための保健室経営計画を立て、校内で共有し、計画的・組織的に実施する。	☐ 保健室経営計画について、実践を充実させ、効果的な保健室経営を推進する。	☐ 学校運営に参画し、効果的・組織的に保健室経営を推進する。
		☐ 保健組織活動の意義と学校・家庭・地域等の協力・連携の重要性を理解している。	☐ 保健組織活動の企画・運営に積極的に取り組む。	☐ 保健組織活動が効果的に実践できるよう内容の工夫改善を図る。	☐ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進する。
		☐ 子どもの多様性を理解し、一人一人とつながりをつくらうとしている。	☐ 子どもの実態と背景の把握をもとに、個に応じた指導を行い、子どもとの信頼関係を築いている。	☐ 組織の一員として、子どもが生き方についての考え方を深めていくことができるように、計画的・継続的な指導を行っている。	☐ 経験から醸し出される言葉がけや相談、見届け指導を行い、 <u>子どもの自己実現を全面的に後押ししている</u> 。 ☐ 子ども理解に関して、若手や中堅教員に <u>専門性の高い助言</u> を行っている。
		☐ インクルーシブ教育の理念を踏まえ、特別な支援を要する子どもの対応に関する基本的な知識を身に付けている。	☐ 障害の特性を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導を行っている。	☐ 特別な配慮や支援を要する子どもへの合理的配慮及びその基礎となる環境整備について、計画的・組織的に対応している。	☐ 必要な配慮や支援の種類に応じて自ら模範となって対応し、個別の教育支援計画及び個別の指導計画等の作成に参画し実行をリードしている。
		☐ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	☐ 授業においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 校務においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ 子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する指導を行っている。 ☐ 様々な教育データを蓄積・分析・利活用し、 <u>子ども一人一人に応じたきめ細かい指導・支援</u> に生かしている。		
		☐ 教職員、家庭、地域との連携・協働の意義を理解している。	☐ 保護者や地域への発信、協働を通して信頼関係を築いている。 ☐ 教職員や保護者と協力しながら組織的・継続的に教育活動を行っている。	☐ 学年行事・学校行事等で、教職員や保護者、地域と連携・協働した企画を推進している。 ☐ 地域・保護者の思いを受け止めながら、関係機関と連携し、学校体制で計画的に教育活動を行っている。	☐ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進している。 ☐ 関係機関と連携を深め、保護者・地域を巻き込み、学校体制で、計画的・組織的に教育活動を行っている。
		☐ 教育公務員としての自覚を持ち、組織の一員として自らの役割を果たそうとしている。	☐ 養護教諭の職務についてPDCAサイクルに基づいて実践し、組織の中での自分の役割を果たしている。	☐ 養護教諭の職務について、同僚との合意形成を図り、計画的・組織的に職務を推進している。	☐ 現状と教育資源の分析をもとに、校内外人材の適材適所での活用や地域との協働により効果を上げている。
		☐ 教室内外の安全管理について理解し、適切に対応しようとしている。	☐ 教室内外の安全管理を適切に行っている。	☐ 学校全体のリスクマネジメント（危機回避）とクライシスマネジメント（危機対応）を意識して取り組んでいる。	☐ リスクマネジメントとクライシスマネジメントに関する実施体制の主管と指導を行っている。

静岡市が目指す 教師の姿	教育にひたむきな教師 ・教育への熱意、使命感をもち、<u>生涯を通じて学び続ける教師</u> ・<u>子ども一人一人の学びを最大限引き出し、子どもの主体的な学びを支援する教師</u> ・人とつながる人間関係調整力をもった教師
-----------------	---

ステージ 資質能力		着任時（採用前）		基礎期（初任～中堅研）	充実期	深化期		
		教員としての歩みを 始める時期		教員としての 基礎を確立する時期	中堅教員として、 学校運営の中核を担う時期	自己の専門性（管理者としての専門性を含む）の更なる向上と若手・中堅教員への指導の時期		
素養		□ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、胆力、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。 □ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。						
		ICTや情報・教育データの活用	学校給食管理 ○栄養管理 (生きた教材の作成) ○衛生管理	□ 学校給食の役割や適切な栄養管理について理解している。 □ 衛生管理の基礎・基本や重要性について、関連法規及び科学的根拠と紐付けて理解している。	□ 学校給食摂取基準に基づき、食品構成や食育の観点を考慮しながら地場産物を活用した献立を作成する。 □ 学校給食衛生管理基準に基づき、安全や衛生に配慮した環境整備を行うとともに課題について適切な提案を行う。	□ 子どもや地域の健康課題等を把握して適切な栄養管理を行うとともに、関係者への積極的な情報提供を行う。 □ 施設に応じた衛生管理について調理員や教職員へ指導・助言を行うなど、組織的な危機管理体制の整備を進める。	□ 適切な栄養管理、献立作成、調理、配食等について、 <u>高度な専門知識を生かして指導的</u> な役割を果たす。 □ 衛生管理に関する <u>豊富な経験と高度な知識を生かし</u> 、地域の指導的役割を果たす。	
			食に関する指導 ○授業構想 ○授業展開 ○評価と改善	□ 食育に関する基礎的な知識を身に付け、食に関する指導の全体計画の立案に参画しようとしている。	□ 子どもの実態や食に関する指導の全体計画をもとに、学習指導要領に沿い、担当者(担任等)と連携しながら専門性を生かした指導を行う。	□ 学習指導要領、食育の視点、給食献立を関連付けながら、学校教育活動全体を通して専門性の高い指導を、計画的、継続的に行う。	□ 若手や中堅職員に授業改善の <u>助言・指導</u> や模範授業を行う。 □ 校内の食育推進委員会の一員として、学校全体の教育活動を俯瞰し、学校の教育活動に対して <u>食指導の観点から必要な助言</u> を行う。	
			生徒指導	○個別的な相談指導 ○子ども理解	□ 栄養相談の基本的なプロセスに関する栄養学等の専門知識やスキルを身に付けている。 □ 現代社会における子どもの特徴や子どもの多様性を理解している。	□ 子どもの食に関する健康課題に責任を有する立場であることを自覚し、教職員と連携し、保護者に対する助言や支援を行い、子どもの食に関する個別の事情に応じた相談指導を行う。 □ 子どもの実態と背景を把握し、保護者や他の教職員と情報共有しながら、個に応じた指導を組織的・継続的に行う。	□ 教職員、保護者と連携し、子どもの食に関する健康課題や発達段階に応じた相談指導を積極的に行う。また、関係機関との連携・調整を行う。 □ 子どもが生涯にわたって健やかに生きるための基礎を身に付けることができるように、計画的・継続的な指導を行う。	□ 子どもの食に関する健康課題について、 <u>効果的な個別指導を工夫・改善</u> するとともに若手や中堅職員に <u>栄養学等の専門性の高い助言</u> を行う。 □ 経験から醸し出される言葉がけや相談、見届け指導を行い、 <u>子どもの自己実現を全面的に後押し</u> する。
			○特性の理解 ○支援の工夫	□ インクルーシブ教育の理念を踏まえ、栄養士として特別な支援を要する子どもの対応に関する、基本的な知識を身に付けている。	□ 障害の特性を理解し、特別な配慮や支援を要する子どもへの合理的配慮及びその基礎となる環境整備について、組織の一員として対応している。	□ 障害の特性を理解した上で、その対応について、若手や中堅職員に専門的な助言を行う。	□ 障害の特性を理解し、保護者や他の教職員と情報共有しながら、給食提供の上で可能な限りニーズに応じる工夫を行っている。	
			○ICT活用 ○情報活用能力 ○教育データの利活用	□ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	□ 授業においてICT機器を効果的に活用している。 □ 校務においてICT危機を効果的に活用している。 □ 子どもの情報活用能力（情報モラルを含む）を育成する指導を行っている。 □ さまざまな教育データを蓄積・分析・利活用し、 <u>子ども一人一人に応じたきめ細かい指導・支援</u> に生かしている。			
	特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応	○マネジメント 連携・協働 ファシリテーション	□ 教職員、家庭、地域との連携・協働の意義を理解している。	□ 保護者や地域への発信、協働を通して信頼関係を築いている。 □ 教職員、保護者と協力しながら組織的・継続的に教育活動を行っている。	□ 学年行事・学校行事等で、教職員や保護者、地域と連携・協働した企画を推進している。 □ 地域・保護者の思いを受け止めながら、関係機関と連携し、学校体制で計画的に教育活動を行っている。	□ 地域や他校・他機関と協働した企画を広い視野で推進している。 □ 関係機関と連携を深め、保護者・地域を巻き込み、学校体制で、計画的・組織的に教育活動を行っている。		
			組織マネジメント	□ 教育公務員としての自覚を持ち、組織の一員として報告・連絡・相談を行い、行動しようとする。	□ 分掌の業務についてPDCAサイクルに基づいて実践し、子どもを成長させている。	□ 分掌の主任等としての業務について、同僚との合意形成を図り、計画的・組織的に職務を推進する。	□ 現状と教育資源の分析をもとに、校内外人材の適材適所での活用や地域との協働により効果を上げている。	
			危機管理	□ 調理室内の安全管理について理解し、適切に対応しようとする。	□ 調理室内外の安全管理を適切に行う。	□ 学校全体のリスクマネジメント（危機回避）とクライシスマネジメント（危機対応）を意識して取り組む。	□ リスクマネジメントとクライシスマネジメントに関する実施体制の主管と指導を行う。	

静岡市事務職員育成指標と事務職員研修

静岡市事務職員育成指標

静岡市が目指す 事務職員の姿		教育の質を高める教育事務を創造し、実践する事務職員						
		・教育への理解、使命感をもち、 <u>生涯を通じて学び続ける</u> 事務職員						
		・積極的に学校経営に参画し、子どもの主体的な学びを支援する事務職員						
		・人とつながる人間関係調整力をもった事務職員						
ステージ (職名)	着任時		基礎期(初任～)		充実期	深化期		
	新規採用	主事	主任主事	事務主査	事務主幹	共同学校事務室長 兼統括事務主幹		
	セルフマネジメント			組織マネジメント		戦略マネジメント		
素 養		☐ 「たくましく しなやかな子どもたち」を育成するために、教育的愛情、人権意識、倫理観と責任感をもち、コミュニケーション力、想像力を働かせて人間性を磨いている。						
		☐ 教育を取り巻く課題を前向きに受け止め、自律的・継続的に学び続けようとする。						
ICTや情報・データの活用	新たな教育課題への対応	学校事務遂行 ○財務管理 ○人事管理 ○計画的推進	☐ 決算や予算の執行を把握し、適正に処理している。	☐ 予算の執行や施設設備・備品の現状を正確に把握し、予算委員会で情報提供し、適正な管理を行っている。	☐ 予算委員会での企画・提案内容を自校や室内に具体的に示し、財務マネジメントを生かした教育事務を遂行している。	☐ 構成校における財務マネジメントを把握し、課題に対応している。	☐ 室員一人一人の資質能力やキャリア段階を的確に把握し、室員が意欲的に学校経営参画に取り組める体制を整える。	
			☐ 法令根拠に基づいた実務を習得する。	☐ 業務の結果をフィードバックし、知識を増やす。	☐ 先輩からの指導助言を自校の具体的な業務の改善に積極的に役立てている。	☐ 専門性を生かし、室員の指導・育成を行っている。	☐ 調整担当・チームリーダー等の指導・育成を行っている。	☐ 室の中核となる事務職員の指導・育成を行う。
			☐ 関係法規や職務に関する知識及び技能を生かし、計画的に正確な事務処理を行っている。	☐ 業務の兼ね合いや優先順位を考慮し、効率化のための工夫をしている。	☐ 学校運営が法規等に基づき、計画的かつ適正に行われるよう、室内の教職員に対して適切な助言をしている。	☐ 各学校の経営方針に基づき、行政ニーズを踏まえた課題を的確に把握し、室を運営している。	☐ 静岡市立小中学校の事務処理体制の在り方を統括し、豊富な知識と経験を生かし、室の経営ビジョンを示す。	
	○教職員との連携 ○教育行政との連絡	☐ 教職員との円滑なコミュニケーションを図り、教育活動を理解している。	☐ 学校教育目標の達成に向け、他職種と協働しながら、自分の役割を果たしている。	☐ 学校評価から、校内の事務主任の立場で積極的に工夫・改善に取り組んでいる。	☐ 的確な判断と確実な業務の遂行により、教職員、保護者、地域、関係機関からの信頼に応えている。	☐ リーダーとして、構成校の課題を把握し、専門的な視点から指導や助言を行い、課題解決を図っている。	☐ 客観的な情報やデータから教育事務に関する課題を整理し、課題解決に向けた改善方針を立案し実施する。	
		☐ 室における担当業務に必要な専門知識・技術を習得する。	☐ 室における役割を理解し、担当として積極的に取り組んでいる。	☐ 学校をとりまく課題に対し、室運営の在り方を考え、リーダーとして解決に向けて継続的かつ計画的に取り組んでいる。		☐ 室の課題を明確にし、解決に向けて指導・助言する。		
	○ICT活用 ○データの活用	☐ 学校におけるICT活用の意義を理解している。	☐ 校務においてICT機器を効果的に活用している。 ☐ ICT機器に関する知識・理解を深め、子どもの学習環境等の整備に生かしている。					
○マネジメント 家庭・地域との連携・協働 情報収集・発信 組織マネジメント 危機管理	☐ 保護者、地域等からの意見や問い合わせに対して誠意をもって対応している。	☐ 校内の運営委員会等で各主任との円滑な連絡調整を図り、積極的に学校運営に参画している。	☐ 業務に必要な知識や情報を積極的に習得する。	☐ 事務局等関係機関からの情報収集を的確に行い、校内の業務を円滑に行っている。	☐ 校内の運営委員会、学校運営協議会等において情報を発信するとともに、保護者、地域等からの情報を積極的に収集し、学校経営参画に生かしている。	☐ 室の課題や構成校における学校運営上の課題について、他職種と協働し業務改善を行っている。	☐ 関係機関と確実に連絡調整を行い、校内や室の業務を円滑に推進している。	☐ 教育振興基本計画の実現に向け、教育委員会、校長会等とともに静岡市の教育を担う教育事務を展開する。
	☐ 教職員としての自覚をもち、組織の一員として、役割を果たしている。(報告・連絡・相談)	☐ 情報セキュリティポリシーや文書取扱要領等に基づいて、校内の情報や文書の取扱を適切に行っている。		☐ 構成校における情報資産や文書が適切に管理されるために必要な情報の発信や手立てを講じている。	☐ 教育事務について、積極的に情報収集し、課題解決を図っている。	☐ 情報セキュリティポリシーや学校管理についての危機管理意識を常にもち、情報セキュリティインシデント対策に努め、構成校の学校の情報や文書の管理を適切に行えるよう情報発信し、手だてを講じている。		

* 「室」とは、共同学校事務室をさす。

* 「構成校」とは、共同学校事務室内の構成校をさす。

* ここでいう「教育事務」とは、静岡市の教育に関する事業において、直接的な指導を除いた仕事をいう。